

徳島県

# 埋蔵文化財センター年報

Vol. 18 2006 年度

2007

財団法人 徳島県埋蔵文化財センター





萩原 2 号墓 主体部検出状況



下中筋遺跡 弥生時代中期後半のガラス製勾玉



## はじめに

本書は、平成18年度に財団法人徳島県埋蔵文化財センターが実施した事業の概要をまとめたものです。

当年度は大きな変化の年でありました。これまで、徳島県立埋蔵文化財総合センターの施設については、その管理運営を財団法人徳島県埋蔵文化財センターが一体的に任されてまいりました。しかし、地方自治法改正により、平成18年4月から公の施設について指定管理者制度が導入されたことにより、総合センター施設のうち、展示室・研修室・図書閲覧室などの屋内施設及び屋外展示施設等は指定管理者が管理運営することとなりました。応募の結果、当財団が指定管理者となったことを受け、これまでのノウハウの蓄積や、あらたな発想での取り組みにより、本県の埋蔵文化財の普及・活用や文化財愛護精神の高揚にこれまで以上に貢献してまいりたいと考えております。

一方、発掘調査、出土資料整理、普及事業については、これまでと同様に県教委からの委託により実施し、大きな成果をあげています。

発掘調査事業は、前年度に引き続き5つの調査班体制で、14遺跡の発掘調査と4遺跡で試掘調査を実施しました。そのうち鳴門市大麻町の萩原2号墓の調査では埋葬主体部の構造が明らかとなり、阿波の王墓の系譜や近畿地方との交流を考える上で重要な成果がありました。ほかにも徳島市下中筋遺跡の弥生時代中期の遺構とガラス製勾玉などの遺物の検出、南藏本遺跡の弥生時代後期の鍛冶遺構の検出など注目すべき成果がありました。

整理事業は、徳島市觀音寺遺跡など8遺跡の整理事業を実施し、報告書作成に向けて作業と分析を進めてまいりました。

普及事業は、徳島県教育委員会が史跡整備や埋蔵文化財情報の総合的活用を図る「いにしえ夢街道推進事業」を立ち上げるなか、当センターにおいても、これまでの経験を活かしながら、新たな視点で体験活動や情報発信に努めてきました。

本書を通じて、当センターの活動を知っていただくとともに、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

財団法人 徳島県埋蔵文化財センター  
理事長 佐藤 勉

## 目 次

I 財団法人 徳島県埋蔵文化財センターの概要	4
II 平成 18 年度事業概要	6
III 調査事業報告	11
県事業関連発掘調査	
南藏本遺跡 池尻・桜間遺跡	14
敷地遺跡 徳島城下町跡安宅 2 丁目地点（安宅役所跡）	15
名東遺跡 姫田遺跡他試掘調査	16
押原東遺跡 守護町勝瑞遺跡	17
国事業等関連発掘調査	
宮ノ本遺跡 大原遺跡	18
庄堀遺跡 広田遺跡	19
下中筋遺跡 矢武遺跡	20
指定史跡等保存活用事業	
萩原 2 号墓	21
IV 整理事業報告	22
V 埋蔵文化財センターの活動	23
1 阿波歴史体感ネットワーク「いにしえ夢街道」推進事業	23
2 埋蔵文化財総合活用事業	25
3 収蔵庫資料整理等業務	26
4 徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務	29
5 発掘現場における普及啓発活動	31
6 職員の対外活動	31
7 ホームページ管理	32
8 本年度受贈図書数	32
9 本年度刊行物	32

### 例　　言

- 1 本書は財団法人徳島県埋蔵文化財センターの平成 18 年度事業をまとめた年報である。
- 2 III調査事業報告に関する地形図は国土地理院発行 1 / 50,000 地形図を転載したものであり、各図に図幅名を記した。
- 3 III調査事業報告の概要は各担当が執筆し、その責を文末に記した。

# 平成 18 年度 財団法人 徳島県埋蔵文化財センターの組織



# I 財団法人徳島県埋蔵文化財センターの概要

## 1 設立の目的

徳島県内における埋蔵文化財（出土した文化財を含む。）の調査、研究を行うとともに、文化財の保護意識の啓発普及を図り、地域文化の振興に寄与することを目的とする。

## 2 設立年月日

平成元年 4 月 1 日（徳島県教育委員会指令教文第 71 号で設立許可）

## 3 事業内容

- (1) 埋蔵文化財の調査、研究
- (2) 出土した文化財の整理、保存
- (3) 埋蔵文化財の活用
- (4) 保護意識の啓発普及
- (5) 埋蔵文化財調査技術の指導等
- (6) 埋蔵文化財の資料収集、整理保存、報告書の刊行
- (7) 徳島県立埋蔵文化財総合センターの管理運営業務
- (8) その他

## 4 資産及び会計

- (1) 資産構成 財団設立当初の財産、寄付金品、事業収入、資産収入、その他収入
- (2) 資産種別 基本財産、運用財産
- (3) 事業年度 每年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで
- (4) 基本財産 1,000 万円（定期預金）
- (5) 決算額 8 億 5,538 万 25 百円（平成 18 年度）

## 5 役員（平成 18 年 4 月 1 日現在）

- (1) 理事 10 名（定数は 13 名以内、うち理事長 1 名、副理事長 1 名、専務理事 1 名、常務理事 1 名）
- (2) 監事 2 名
- (3) 任期 2 年（平成 17 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日まで）
- (4) 理事会
  - ① 機能 法人の業務に関する重要な事項を議決し、執行する。
  - ② 開催 通常理事会（年 2 回開催）、臨時理事会

## 6 施設

### (1) 徳島県立埋蔵文化財総合センター

- ① 所在地 徳島県板野郡板野町大伏字平山 86 番 2
- ② 敷地面積 16,093m<sup>2</sup>
- ③ 建物 鉄筋コンクリート造 2 階建（一部鉄骨造）建築面積 2,554.05m<sup>2</sup>、事務室、研究員室、展示室、図書資料室、情報処理室、分析室、収蔵庫、機材保管室、整理復元室、写真撮影室、木器、鉄器処理室など
- ④ 総事業費 21 億 6,400 万円

(2) 整理作業棟

- ① 所在地 徳島県板野郡板野町犬伏字東谷 6 番 16
- ② 敷地面積 4,133m<sup>2</sup> (板野町有地を借上げ)
- ③ 建物 軽量鉄骨プレース造平屋建 2 棟 1,105.63m<sup>2</sup>  
整理作業室、復元室、トレース室、保管庫など
- ④ 貸借料 1,585 万 6 千円 (年額)

7 事務局職員 (平成 18 年 5 月 1 日現在) 合計 135 名

(1) 常勤職員 45 名

内訳 派遣教職員 25 名 (うち社会教育主事 16 名)

財団職員 20 名 (所長 1 名、研究補助員 2 名、経理嘱託員 1 名、臨時補助員 5 名を含む)

(2) 非常勤職員 90 名

内訳 調査補助員 10 名

作業員 80 名

## II 平成 18 年度事業概要

### 1 理事会の開催状況について

#### (1) 第 62 回通常理事会

開催日 平成 18 年 6 月 27 日（火）  
議案 平成 17 年度事業報告について  
平成 17 年度収支決算について

#### (2) 第 63 回通常理事会

開催日 平成 19 年 3 月 22 日（木）  
議案 平成 18 年度収支予算の補正について  
平成 19 年度事業計画案について  
平成 19 年度収支予算案について  
就業規程について  
職員給与規程について  
職員退職給与規程について

#### (3) 第 64 回臨時理事会

開催日 平成 19 年 3 月 30 日（金）  
議案 財団法人徳島県埋蔵文化財センター役員の選任について  
平成 18 年度収支予算の補正について

### 2 事業の実施状況について

#### (1) 埋蔵文化財発掘調査業務の実施

徳島県から委託を受け、次の 16 遺跡について発掘及び試掘調査を行った。

##### ① 県立中央病院改築事業関連埋蔵文化財調査

徳島市南蔵本町 南蔵本遺跡 発掘調査面積 750 m<sup>2</sup> 延べ面積 2,250 m<sup>2</sup>

##### ② 道路改築事業（徳島環状線國府～藍住工区）関連埋蔵文化財調査

徳島市国府町 池尻・桜間遺跡 発掘調査面積 130 m<sup>2</sup> 延べ面積 390 m<sup>2</sup>

##### ③ 道路改築事業（徳島環状線國府工区）関連埋蔵文化財調査

徳島市国府町 敷地遺跡 発掘調査面積 1,740 m<sup>2</sup> 延べ面積 4,280 m<sup>2</sup>

##### ④ 緊急地方道路整備事業徳島東環状線（末広～住吉）関連埋蔵文化財調査

徳島市安宅町 徳島城下町跡安宅 2 丁目地点（安宅役所跡）

発掘調査面積 2,100 m<sup>2</sup> 延べ面積 2,100 m<sup>2</sup>

##### ⑤ 徳島東部都市計画道路 3, 4, 22 号庄名東線関連埋蔵文化財調査

徳島市名東町 名東遺跡 発掘調査面積 2,500 m<sup>2</sup> 延べ面積 2,500 m<sup>2</sup>

##### ⑥ 四国横断自動車道（小松島～鳴門間）関連埋蔵文化財調査

鳴門市大麻町 姫田遺跡

鳴門市大津町 大幸遺跡 II

板野郡北島町 太郎八須遺跡 試掘調査面積 655 m<sup>2</sup>

⑦ 旧吉野川流域下水道建設事業関連埋蔵文化財調査						
板野郡藍住町	守護町勝瑞遺跡	発掘調査面積	9m <sup>2</sup>	延べ面積	81m <sup>2</sup>	
⑧ 緊急地方道路整備事業（主要地方道鳴門池田線）関連埋蔵文化財調査						
美馬市脇町	拌原東遺跡	発掘調査面積	300m <sup>2</sup>	試掘調査面積	24m <sup>2</sup>	
⑨ 桑野川床上浸水対策特別緊急事業に伴う埋蔵文化財調査						
阿南市長生町	宮ノ本遺跡	発掘調査面積	2,300m <sup>2</sup>	延べ面積	3,450m <sup>2</sup>	
阿南市長生町	大原遺跡	発掘調査面積	1,150m <sup>2</sup>	延べ面積	2,200m <sup>2</sup>	
阿南市富岡町	庄境遺跡	発掘調査面積	1,000m <sup>2</sup>	延べ面積	1,000m <sup>2</sup>	
⑩ 徳島南環状道路（日比宇地区）関連埋蔵文化財調査						
徳島市上八万町	広田遺跡	発掘調査面積	1,900m <sup>2</sup>	延べ面積	3,800m <sup>2</sup>	
⑪ 徳島南環状道路（大木地区）関連埋蔵文化財調査						
徳島市上八万町	下中筋遺跡	発掘調査面積	1,500m <sup>2</sup>	延べ面積	4,500m <sup>2</sup>	
⑫ 吉野川下流域農地防災事業（矢武工区）に伴う埋蔵文化財調査						
板野郡上板町	矢武遺跡	発掘調査面積	570m <sup>2</sup>	延べ面積	570m <sup>2</sup>	
合計	発掘調査面積	15,949m <sup>2</sup>	延べ面積	27,421m <sup>2</sup>	試掘調査面積	679m <sup>2</sup>

## (2) その他の調査等事業の実施

徳島県から委託を受け、次の事業を行った。

### ① 指定史跡等保存活用事業

鳴門市大麻町萩原2号墓を対象に重要遺構確認調査を実施した。

発掘調査面積 50m<sup>2</sup>

## (3) 出土資料整理業務の実施

徳島県から委託を受け、次のとおり出土資料の整理作業を行った。

### ① 徳島南環状道路関連埋蔵文化財出土資料整理

徳島市国府町	觀音寺遺跡（1）	コンテナ	980 箱
徳島市国府町	延命遺跡	コンテナ	280 箱

### ② 日和佐道路関連埋蔵文化財出土資料整理

海部郡美波町	田井遺跡	コンテナ	140 箱
--------	------	------	-------

### ③ 加茂第一地区堤防の事業に伴う埋蔵文化財出土資料整理

三好郡東みよし町中庄東遺跡	コンテナ	140 箱
---------------	------	-------

### ④ 桑野川床上浸水対策特別緊急事業に伴う埋蔵文化財出土資料整理

阿南市長生町	宮ノ本遺跡	コンテナ	140 箱
--------	-------	------	-------

### ⑤ 道路改築事業（徳島環状線国府工区）関連埋蔵文化財出土資料整理

徳島市国府町	觀音寺遺跡	コンテナ	560 箱
徳島市国府町	敷地遺跡	コンテナ	280 箱

### ⑥ 広域基幹河川改修事業（園瀬川）関連埋蔵文化財出土資料整理

徳島市八万町	寺山遺跡	コンテナ	280 箱
整理コンテナ総数		合計	2,800 箱

#### (4) 発掘調査報告書の作成

次の3遺跡の発掘調査の調査結果を整理して2冊の報告書を刊行した。

- ①『徳島県埋蔵文化財調査報告書第67集

西州津遺跡 東州津遺跡 一般国道32号井川IC関連改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告  
三好市池田町に所在する西州津遺跡と東州津遺跡の発掘調査報告

- ②『徳島県埋蔵文化財調査報告書第68集

觀音寺遺跡Ⅱ（觀音寺遺跡 木器篇）一般国道192号徳島南環状道路改築に伴う埋蔵文化財  
発掘調査

徳島市国府町に所在する觀音寺遺跡の南環状道路改築事業関連2冊目の発掘調査報告。対象は古代の河川等から出土した木器。

#### (5) 普及・啓発事業

- ① 発掘現場における普及啓発活動

ア 現地説明会 平成18年度に発掘中の遺跡等の調査成果を広く県民に紹介した。

・下中筋遺跡（徳島市上八万町）・南蔵本遺跡（徳島市南蔵本町）・萩原2号墓（鳴門市大麻町）

イ 遺跡体験見学会 発掘調査の意義を説明し、遺跡の概要解説と体験発掘を行った。

・敷地遺跡（徳島市国府町）

- ② 収蔵庫資料整理等業務 県立埋蔵文化財総合センター保管の埋蔵文化財の保存・活用を図るため、収蔵庫内の資料整理、検索システムの構築、遺物保存処理等を行った。

- ③ いにしえ夢街道推進事業 史跡と周辺の遺跡、関連文化財や博物館等の施設をつなぐことで、文化財の総合的な活用を図るとともに、関係市町・関係部局との連携や住民の参加と協働による文化財を活かした地域づくりと地域交流の促進による県域の活性化を目指して行う県教育委員会の事業の一翼を担った。

ア 夢街道オンライン 「いにしえ夢街道」推進事業の諸事業、徳島県立埋蔵文化財総合センターの開催イベント及び発掘調査現地説明会等の県内情報を収集・整理のうえ発信した。

イ 夢街道シンポジウム 阿波国府や周辺の古代遺跡を素材に文化財を活用した地域づくりを考えた。

・石井町中央公民館におけるシンポジウム「阿波の国府と国分尼寺」

ウ 文化遺産合同巡回企画展

・石井町中央公民館 阿波のまほろば古代政治のみち「粟凡直の躍動—阿波国の成立—」

エ 郷土文化教育教材整備事業 郷土徳島の遺跡・遺物を紹介する学習教材（写真パネルと解説文）を作成し、県内の小学校に配布した。

オ アワコウコ楽連続公開講座 考古学から見た阿波の地域性を主テーマとし、各時代の代表的な事例を選択して、前・後期に分け講演会や展示解説をした。

カ アワコウコ楽マイスター 考古学的成果を踏まえながら、古代の技術・文化の追体験を行った。

④ 埋蔵文化財総合活用事業

ア 埋蔵文化財速報展「発掘とくしま」 平成 17 年度に発掘した遺跡の主要な出土品を展示するとともに、各種関連行事を実施、歴史に対する理解と認識、文化財保護意識の向上に努めた。

イ 考古資料の活用

ウ 各種研修の受託

・初任者研修（企業等研修）・職場体験学習・高校生インターンシップ

・市町村埋蔵文化財担当専門職員研修会

エ 移動教材セット「体感！阿波の古代人」等の活用

⑤ 徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務

県教育委員会から指定された同センターの一般公開部分の指定管理者として、管理運営の基本方針（利用促進、サービスの向上、コストの削減、施設の適正な維持管理、地域への貢献・連携、安全管理、環境への配慮）に基づき、適切な管理運営を行った。

ア 対象施設の利用状況 来館者数 7,272 名

イ 自主事業の実施状況

・アワコウコ楽マイスター成果展・徳島の遺跡展「矢野遺跡」

・四国地区埋蔵文化財センター巡回展「発掘へんろ」・中国四国前方後円墳研究会

・毎日古代体験

### 3 平成 18 年度収支決算

財団法人徳島県埋蔵文化財センターの、平成 18 年度の収支決算等は次のとおりである。

(1) 収入の部

(単位：円)

科 目	平成 17 年度	平成 18 年度	比較 増△ 減額	備 考
1 基本財産運用収入	3,000	63,821	60,821	
2 事 業 収 入	942,327,000	855,382,500	△ 86,944,500	
3 特定預金取崩収入	360,000	74,000	△ 286,000	
4 雑 収 入	92	26	△ 66	
5 繰 越 金	2,234,757	2,237,849	3,092	
合 計	944,924,849	857,758,196	△ 87,166,653	

(2) 支出の部

(単位：円)

科 目	平成 17 年度	平成 18 年度	比較 増△ 減額	備 考
1 事 業 費	895,840,262	831,203,897	△ 64,636,365	
2 管 理 費	42,787,000	15,466,500	△ 27,320,500	
3 特定預金支出	4,059,738	8,712,103	4,652,365	
合 計	942,687,000	855,382,500	△ 87,304,500	

(3) 平成 18 年度収支差額

収入額合計 857,758,196 円

支出額合計 855,382,500 円

次期繰越額 2,375,696 円

## (4) 事業量の推移

年度	発掘面積 (m <sup>2</sup> )	整理コンテナ数 (箱)	総事業費 (円)
平成元	28,480	2,168	156,518,712
2	192,320	—	901,759,018
3	79,169	1,994	373,471,037
4	62,871	1,237	288,440,306
5	17,414	708	411,395,390
6	22,206	572	465,537,840
7	98,707	819	1,806,576,390
8	246,852	1,016	3,073,287,360
9	102,161	1,145	3,471,304,650
10	72,204	2,655	1,746,591,400
11	53,253	2,783	1,879,475,750
12	92,473	2,403	2,231,811,799
13	92,745	2,800	1,907,957,562
14	92,714	2,800	1,769,025,000
15	73,738	2,817	1,512,832,400
16	27,328	2,803	962,282,000
17	24,596	2,800	942,327,000
18	28,150	2,800	855,382,500

### III 調査事業報告

平成 18 年度は、徳島県からの委託契約に基づき、指定史跡保存活用事業及び、国・県の公共事業に伴う事前調査として、17 遺跡の調査を実施した。事業量は前年度に引き続き 5 班で対応できる内容であり、地域的には県央部に集中している。今年度も現地説明会を実施した遺跡を中心に多くの注目される成果があった。主な成果について概要を述べる。

県央部では、まず指定史跡保存活用事業で調査した萩原 2 号墓の調査成果が注目される。萩原 2 号墓は積石墳丘墓として、昭和 56（1981）年の萩原墳墓群発掘調査の際に存在が確認されたが、開発対象地外であったため簡単な測量調査に止まり実体は不明であった。2 号墓の調査は、平成 16（2004）年度から墳丘形状の確認調査が実施され、南側に突出部を持つ積石墳丘墓であることが確認された。平成 18（2006）年度調査は、埋葬主体部の構造を確認するものであった。棺の周囲を木椁・繩椁で覆う「積石木椁」であることが推定されるとともに、棺外の供獻土器、及び木椁内側から出土した内向花文鏡の破片から弥生時代後期後半（2 世紀末～3 世紀初頭）の年代が与えられた。この成果は萩原 1 号墓や奈良県桜井市ホケノ山古墳などとの比較から、前期古墳の埋葬主体である竪穴式石室への発展過程を明らかにする上で、今後とも極めて重要な位置を占めるものとなる。

眉山西麓の園瀬川に沿った下中筋遺跡は、地表下約 2.5 m の深さで弥生時代中期後半の集落跡が検出された。特筆されるのは四国で最古となるガラス製勾玉の出土である。小玉などを溶かし合わせて製作したとみられ、同時期のものとしては西日本の 9 遺跡・23 例目となる。集落としても住居密度高く、拠点的な集落とみることも可能である。南約 500 m に位置し、同時期の 7 個の銅鐸埋納していた星河内美田遺跡の存在との関連も注目されるところである。

同じ眉山西麓の広田遺跡でも、古墳時代初頭・後期それぞれの集落跡や土器溜まりなどが検出され、前年度の成果を補完する成果があった。

当年度から調査を開始した眉山西麓の名東遺跡では、弥生時代中期の土器棺などの遺構が、庄遺跡群の東端にあたる南藪本遺跡では弥生時代後期後半の鍛冶遺構が検出された。特に鍛冶遺構はこれまで実態が不明であった弥生時代後期後半の遺構として、徳島における鉄器利用の流れを把握する上で重要な発見といえる。

徳島城下町安宅 2 丁目地点では、2000（平成 12）年度の発掘調査で検出された船藏遺構と同様の遺構が検出され注目される。城下町絵図等の資料から、その存在は予想できるものであるが下部構造が前回の検出例とは異なり、バリエーションの意味を考える上で重要である。

敷地遺跡、池尻・桜間遺跡では水田とその下層の土壙墓群がこれまでの調査成果を補完する形で検出された。

県南部では、桑野川流域北岸の集落遺跡である宮ノ本遺跡・大原遺跡の調査が行われた。宮ノ本遺跡は平成 16（2004）年度からの調査により、縄文時代晚期・弥生時代前期をはじめ中世の大集落であることが判明しているが、今回は中世集落の区画溝の検出が注目される。中世の庄園・竹原庄との関連を考える上で重要な遺跡である。桑野川南岸の庄境遺跡では奈良時代の円面硯が出土した。県南地域の官衙や駿馬については実態がよく分からぬが、それらとの関連を窺わせる発見である。

県事業関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

No	遺跡名（事業名）	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
1	南藏本道跡 (県立中央病院改築推進事業)	徳島市南藏本町1 丁目 2-10 他	750m <sup>2</sup> (調査面積) 2,250m <sup>2</sup> (延べ面積)	H18.11.1 ~ H19.3.31	○縄文時代 ○弥生時代 ○奈良時代 ○平安時代 ○鎌倉時代	竪穴住居・ 溝・土坑 墓	陶土器・弥生土器・ 石器・石製品・金属 製品
2	池尻・桜間道跡 (道路改良事業（徳島環状線 国府～藍住工区))	徳島市国府町池尻 字むさ 342-7 他	130m <sup>2</sup> (調査面積) 390m <sup>2</sup> (延べ面積)	H18.5.1 ~ H19.5.31	古墳時代 ○飛鳥時代 ○奈良時代 ○平安時代 ○鎌倉時代	溝・水田・ 柱穴・土壤 墓	土師器・須恵器・瓦 器
3	敷地道路 (道路改良事業（徳島環状線 国府工区))	徳島市国府町池尻 字中歳田 309 他	1,740m <sup>2</sup> (調査面積) 4,280m <sup>2</sup> (延べ面積)	H18.6.1 ~ H18.8.31 H18.10.1 ~ H19.1.31	飛鳥時代 ○奈良時代 ○平安時代 ○鎌倉時代	水田・土坑・ 柱穴・土壤 墓	土師質土器・須恵器・ 磁器・石製品・金属 製品・錢貨
4	徳島城下町附安宅2丁目地点 (安宅投所跡) (緊急地方道路整備事業徳島 東環状線(末広～吉佐))	徳島市安宅2 丁目 50 他	2,100m <sup>2</sup> (調査面積)	H18.10.1 ~ H19.3.31	○江戸時代	溝・土坑・ 柱穴・板敷・ 石敷	陶磁器・瓦・木製品・ 金属製品
5	名東道路 (徳島東部都市計画道路事業 3.4.22 号庄名東線)	徳島市名東町1 丁 目 46 他	2,500m <sup>2</sup> (調査面積)	H18.4.1 ~ H18.9.30	○弥生時代 ○平安時代 ○鎌倉時代 ○室町時代 ○江戸時代	掘立柱建物・ 溝・土坑・ 柱穴・井戸	弥生土器・土師器・ 須恵器・陶磁器・瓦・ 石器・錢貨
6	姫田道跡 (四国横断自動車道（小松島 ～鳴門間）建設事業)	鳴門市大麻町姫田 字五反田 4 - 1 他	595m <sup>2</sup> (試掘調査面積)	H18.11.1 ~ H18.11.30 H19.3.1 ~ H19.3.31	飛鳥時代 ○奈良時代 ○平安時代 ○鎌倉時代	溝	土師質土器・須恵器
7	大幸道路II (四国横断自動車道（小松島 ～鳴門間）建設事業)	鳴門市大津町大幸 字蒲ノ木 3-1 他	60m <sup>2</sup> (試掘調査面積)	H19.3.1 ~ H19.3.31	—	—	—
8	太郎八須道路 (四国横断自動車道（小松島 ～鳴門間）建設事業)	板野郡北島町太郎 八須字西の瀬 3-1	10m <sup>2</sup> (試掘調査面積)	H19.3.1 ~ H19.3.31	—	—	—
9	梓原東道路 (緊急地方道路整備事業（主 要地方道鳴門池田線))	美馬市脇町字梓原 2327 他	300m <sup>2</sup> (調査面積) 24m <sup>2</sup> (試掘調査面積)	H18.4.1 ~ H18.4.30 H18.9.30	○弥生時代 ○古墳時代 ○鎌倉時代 ○室町時代	竪穴住居・ 水田・集石	弥生土器・土師器・ 須恵器・土師質土器
10	守護町勝瑞道跡 (旧吉野川流域下水道建設事 業)	板野郡藍住町勝瑞 字東勝瑞 190	9m <sup>2</sup> (調査面積) 81m <sup>2</sup> (延べ面積)	H18.9.1 ~ H18.9.30	○室町時代	溝・土坑・ 柱穴	土師質土器・陶磁器・ 金属製品・錢貨

国事業等関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

No	遺跡名（事業名）	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
11	宮ノ本道跡 (桑野川床上浸水対策特別緊 急事業)	阿南市長生町宮ノ 本 29 他	2,300m <sup>2</sup> (調査面積) 3,450m <sup>2</sup> (延べ面積)	H18.4.1 ~ H18.9.30	○弥生時代 ○鎌倉時代 ○室町時代 ○江戸時代	掘立柱建物・ 竪穴住居・ 溝・土坑・ 柱穴・流路	弥生土器・土師器・ 須恵器・土師質土器・ 瓦器・陶磁器・土製品・ 瓦・金属製品・錢貨・ 木製品
12	大原道跡 (桑野川床上浸水対策特別緊 急事業)	阿南市長生町うそ の口 12-1 他	1,150m <sup>2</sup> (調査面積) 2,200m <sup>2</sup> (延べ面積)	H18.10.1 ~ H19.1.31	○弥生時代 ○鎌倉時代 ○室町時代	掘立柱建物・ 溝・土坑・ 柱穴・水田	弥生土器・土師器・ 須恵器・土師質土器・ 陶磁器・瓦・木製品

13	庄境道路 (桑野川床上浸水対策特別緊急事業)	阿南市富岡町庄境 16-1 他	1,000m <sup>2</sup> (調査面積)	H19.2.1 ~ H19.3.31	古墳時代 飛鳥時代 ○奈良時代 鎌倉時代 室町時代	溝・土坑・ 柱穴	土師器・須恵器・陶 磁器・瓦・円瓦窓・ 石製品
14	広田道路 (徳島南環状道路(日比宇地区)改築事業)	徳島市上八町広田 33-1 他	1,900m <sup>2</sup> (調査面積) 3,800m <sup>2</sup> (延べ面積)	H18.4.1 ~ H18.10.31	○弥生時代 ○古墳時代 奈良時代 平安時代 鎌倉時代 室町時代	掘立柱建物・ 壁穴住居・ 溝・土坑・ 水田・水路・ 井戸	弥生土器・土師器・ 須恵器・石器・石製品・ 金属製品・骨
15	下中筋道路 (徳島南環状道路(大木地区)改築事業)	徳島市上八町下中筋 178-1 他	1,500m <sup>2</sup> (調査面積) 4,500m <sup>2</sup> (延べ面積)	H18.4.1 ~ H18.10.31	○弥生時代 ○奈良時代 ○平安時代	掘立柱建物・ 壁穴住居・ 溝・土坑・ 柱穴・水田	弥生土器・石器・金 属製品・ガラス製品
16	矢武道路 (吉野川下流域農地防災事業)	板野郡上板町西分 字北路 6-1 他	570m <sup>2</sup> (調査面積)	H18.12.1 ~ H19.2.28	平安時代 ○鎌倉時代 室町時代 江戸時代	溝・土坑・ 柱穴・水田	土師器・瓦器・磁器

#### 指定史跡等保存活用事業

No	遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
1	萩原 2 号墓	鳴門市大麻町萩原 字山ノ下 3-1 他	50m <sup>2</sup> (調査面積)	H19.2.1 ~ H19.3.31	○弥生時代	積石塚丘墓	弥生土器・銅鏡



※黒塗り記号は本査査調査地点、白抜き記号は試査調査地点

発掘調査地点位置図

## みなみ くら もと 南 蔵本 遺跡

所在地 徳島市南藏本町1丁目2-10他  
調査期間 2006年11月1日～2007年3月31日  
担当者 栗林 川口

眉山北麓の沖積平野に展開する弥生時代前期から江戸時代にかけて遺跡で、鮎喰川の堆積作用と眉山北麓の薬師谷川からの堆積作用により形成された微高地に立地し、庄遺跡群の東端に位置する。弥生時代後期後半の鍛冶遺構が検出され、鋤先1点、ヤリガンナ1点、棒状鉄片2点、結晶片岩製台石1点、敲石3点、砥石2点が出土した。鋤先は刃部と右側袋部が直線状に欠損しており、素材として転用された可能性が想定される。鍛冶炉は長楕円形の土坑掘削後に炭化物を充填し、明瞭な焼土面を有する構造である。(栗林)



1 調査地の位置(徳島)



2 第1遺構面完掘状況



3 鍛冶遺構完掘状況

## いけ じり さくら ま 池尻・桜間 遺跡

所在地 徳島市国府町池尻字むさ342-7他  
調査期間 2006年5月1日～5月31日  
担当者 藤川 松家

鮎喰川と吉野川にはさまれた沖積平野上で標高5～6mに立地する。古代から中世に至る2枚の水田面と1枚の遺構面を確認した。

水田面では跡跡・株跡・溝が多く見られ、それらの方向は条里区画の方位と同一である。下位の遺構面では溝・土壤墓・小穴を検出した。土壤墓は100cmを超える深いものもあり、2基で1対であり、主軸方位が揃うという特徴がみられた。(藤川)



1 調査地の位置(川島)



2 第2水田面検出状況



3 土壤墓掘削状況

# しき 敷地遺跡

所在地

徳島市国府町池尻字中歳田 309 他

調査期間

2006年6月1日～8月31日、

10月1日～2007年1月31日

担当者

藤川 松家

鮎喰川西岸の河川堆積による沖積地上に立地し、中世から古代に至る水田面と古代の遺構面を確認することができた。水田面では条里地割と同一方位の大畦畔と溝を確認した。これらの区画は奈良時代に形成されたものが、近世頃まで継承されてきた過程を示す。水田面下層の遺構面では溝・土壙墓・小穴を検出した。水田開発以前には主として墓域として利用されていた状況がよく分かる。(藤川)



1 調査地の位置 (川島)



2 第1水田面検出状況



3 土壙墓内の土器

## とくしまじょうかまちあとあとけ 徳島城下町跡安宅2丁目地点 (安宅役所跡)

所在地 徳島市安宅2丁目 50 他

調査期間 2006年10月1日～2007年3月31日

担当者 北尾 谷川

吉野川河口のデルタ地帯に立地する。調査地一帯には、徳島藩政期に設けられた水軍の施設の一部があり、当時「安宅御園」と称され、船の格納庫が存在していたことが、絵図や史料から分かっている。調査地は2000年度調査地の東側に隣接する。前回の調査と同じく、船の格納庫の基礎と考えられる板敷遺構、石敷遺構などを確認できた。(北尾)



1 調査地の位置 (徳島)



2 板敷遺構検出状況



3 船材を転用した板材

## みょう 名 東 遺 跡

所 在 地 徳島市名東町 1 丁目 46 他

調査期間 2006 年 4 月 1 日～ 9 月 30 日

担 当 者 北尾 谷川

鯖喰川右岸の眉山山塊北西部の沖積平野に位置する。調査区全体から中世～近世と弥生時代の遺構が検出された。弥生時代の遺構では弥生時代中期の埋納状態の完形の土器が数点出土している。また穿孔された土器が存在することや、これまでの調査成果などと考え合わせると、集落の縁辺部の墓域であったと推定される。(谷川)



1 調査地の位置 (徳島)



2 2 区完掘状況



3 土器棺出土状況

## ひめ だ 姫田遺跡他試掘調査

所 在 地 鳴門市大麻町姫田字五反田 4-1 他

鳴門市大津町大幸字蒲ノ本 3-1 他

板野郡北島町太郎八須字西ノ瀬 3-1 他

調査期間 2006 年 11 月 1 日～ 11 月 30 日,

2007 年 3 月 1 日～ 3 月 31 日

担 当 者 近藤 入江

四国横断自動車道（徳島～鳴門）の建設に先立って、3 地区の試掘調査を実施した。姫田遺跡では、山麓に近い区域で 7 世紀の須恵器壺などを含む古代～中世の遺物包含層を確認した。しかし平野側は擾乱や砂層、さらに湧水点も高く、遺跡の存在を裏づける要素に乏しいものであった。

大幸地区・太郎八須地区については、遺構遺物とも確認されなかった。(近藤)



1 調査地の位置 (徳島)



2 調査地の位置 (徳島)

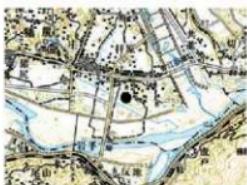


3 大幸地区試掘状況

## はい ばら ひがし 拝原東遺跡

所在地 美馬市脇町字拜原 2327 他  
調査期間 2006年4月1日～4月30日  
担当者 藤川松家

阿讚山脈を浸食して吉野川に合流する曾江谷川が形成した扇状地上に立地する集落遺跡である。これまでの調査で、主に弥生時代終末期と中世の遺構が確認されている。今回の調査では、河岸段丘に接する地点を対象とした。その結果、従来想定されていたよりも遺構面が広範囲に及ぶ可能性が出てきたため、試掘調査を改めて実施し調査対象となる範囲を確定した。(藤川)



1 調査地の位置(脇町)



2 集石土坑



3 弥生土器検出状況

## しゆ ご まち しょう すい 守護町勝瑞遺跡

所在地 板野郡藍住町勝瑞字東勝地 190  
調査期間 2006年9月1日～9月30日  
担当者 藤川松家

国史跡「勝瑞城館跡」の北西部に調査区は位置する。中世の遺構面を9面確認することができた。検出された遺構は土坑・溝・小穴である。出土遺物は土師質土器・陶磁器・金属製品などで、おおよそ16世紀後半～末のものである。1,000点を上回る遺物出土量は非常に密度が高く、その中で高比率を占める「京都系」土師質土器・陶磁器類などは質・量ともに豊富であることが特筆される。(藤川)



1 調査地の位置



2 第12遺構面完掘状況



3 製図作業

## みや 宮 の もと 遺 跡

所 在 地 阿南市長生町宮ノ本 29 他

調査期間 2006 年 4 月 1 日～ 9 月 30 日

担 当 者 大橋 西條

桑野川によって形成された沖積平野上、標高約 3.5 m に位置する。弥生時代前期から江戸時代にかけて形成された集落である。特に中世の遺構面において遺構密度が高く、柱穴約 1800 基、土坑約 140 基、溝 40 条を検出した。溝状遺構（SD1022）は幅約 3 m、深さ 1.5 m の規模で、西から北へ直角に曲がっていることから区画溝と考えられる。中世の遺構はこの溝の周囲に集中していることが明らかになった。この他、平安時代に掘られた小規模な溝や、弥生時代の竪穴住居なども確認された。（大橋）



1 調査地の位置（阿波富岡）



2 遺跡遠景（西から）



3 SD1022 土層堆積状況

## おお だい ばら 原 遺 跡

所 在 地 阿南市長生町うその口 12-1 他

調査期間 2006 年 10 月 1 日～ 2007 年 1 月 31 日

担 当 者 大橋 西條

桑野川によって形成された沖積平野上、標高約 3.5 m に位置する。宮ノ本遺跡からは西へ約 1.5 km 離れた位置にある。宮ノ本遺跡同様に弥生時代から江戸時代の遺物を確認した。中世の遺構が多く、柱穴が約 400 基、土坑 40 基、溝 20 条を検出した。掘立柱建物（SA1001）は 2 間 × 3 間の建物で、軸方向が約 10° 西へ傾いた軸に建てられている。柱跡の中には、木材が残っているものがあった。遺跡の南側には自然流路跡があり、川に隣接した集落であったと推定される。（大橋）



1 調査地の位置



2 遺跡遠景（南東から）



3 SA1001 完掘状況（南から）

## 庄境遺跡

所在地 阿南市富岡町庄境 16-1 他

調査期間 2007年2月1日～3月31日

担当者 大橋 西條

鍛冶ヶ峰北麓で桑野川南岸沿いの沖積平野上、標高約3～3.5mに位置する。古墳時代から中世までの柱穴約100基、土坑23基が、河岸に堆積した礫層の上面で検出された。特に奈良時代から平安時代の遺物が多く、なかでも「円面鏡」の出土が注目される。これは鏡面を下にした状態で、柱穴に埋まっていた。その他、赤色塗彩の杯片なども出土している。庄境遺跡の北西約1kmには白鳳期の瓦の出土で知られる立善庵寺があり、本遺跡の周辺に古代の役所に関連する施設の存在が想定される。(大橋)



1 調査地の位置（阿波富岡）



2 遺跡遠景（北東から）



3 円面鏡出土状況

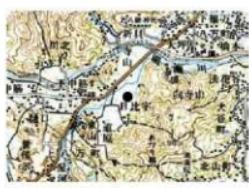
## 広田遺跡

所在地 德島市上八万町広田 33-1 他

調査期間 2006年4月1日～10月31日

担当者 栗林 川口

園瀬川に沿った沖積平野に立地する。弥生時代後期から中世の遺構・遺物が確認された。古墳時代後期に属する遺構は、竪穴住居4軒、掘立柱建物1棟、井戸2基、土坑多数等が検出された。7世紀初頭の井戸1からは須恵器杯身、杯蓋、土師器甕、砥石、刀子、馬歯が検出され、井戸廃絶に伴う祭祀行為と考えられる。弥生時代後期～古墳時代前期の微高地縁辺から約2500点の土器が出土した。土器は、東阿波型土器、下川津B類土器、布留式土器（在地産）が含まれている。(栗林)



1 調査地の位置（徳島）



2 完掘状況



3 土器溜まり検出状況

## しもなかすじ筋遺跡

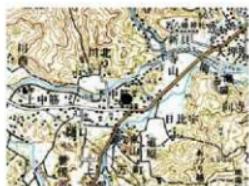
所在地 徳島市上八万町下中筋 178-1 他

調査期間 2006年4月1日～10月31日

担当者 近藤 入江

弥生時代中期後半(紀元前1世紀～紀元後1世紀前半)の掘立柱建物跡1棟、竪穴住居跡12軒、土坑、ピット合わせて100基以上が検出され、集落遺跡であることがわかった。

竪穴住居跡(SB3013)からは、四国最古となるガラス製勾玉が出土した。本遺跡以外で、中期のガラス製勾玉は、福岡県2遺跡16点、佐賀県1遺跡1点、岡山県3遺跡3点、京都府1遺跡1点、大阪府1遺跡1点が出土している。本遺跡で、9遺跡目(23点目)の出土例となる。(近藤)



1 調査地の位置(徳島)



2 遺構検出状況



3 土器検出状況

## やと武遺跡

所在地 板野郡上板町西分字北路6-1 他

調査期間 2006年12月1日～2007年2月28日

担当者 近藤 入江

宮川内谷川北岸の標高6.5m前後の沖積地に立地する。地表下2.2mで、鎌倉時代を中心とする遺構・遺物が検出された。集落の縁辺部と見られ、集落本体は調査区の北東方向に拡がるとみられる。掘立柱建物の一部とみられる柱穴や炭化材、土坑などが主な遺構である。瓦質の羽釜をはじめ、龍泉窯系の青磁碗片、白磁皿片なども出土している。江戸時代以降は繰り返し洪水に見舞われながら水田耕作が行われた地域である。(近藤)



1 調査地の位置(川島)



2 4区完掘状況



3 3区完掘状況

## 萩原 2 号墓

所在地 岡門市大麻町萩原字山ノ下3-1他  
調査期間 2007年2月1日～3月31日  
担当者 藤川 松家

萩原2号墓は積石墳丘墓で、弥生時代終末期の積石墳丘墓として知られる1号墓の北側50mに位置する。これまでに調査で、墳丘を砂岩で構築しており、径20mの円丘の南側に突出部が付くことが確認されている。

今回の発掘調査では、埋葬施設の構造解明に焦点を絞った。その結果、墓壙全体に結晶片岩の板石を敷き詰め、その中央部に棺を安置する粘土床を設ける。粘土床の外側に結晶片岩を墓壙の半分の高さまで充填していた。これにより棺の周囲を木椁・蝶椁で多重に覆う「積石木椁」構造に復元した。また、棺外に供獻された土器から、弥生時代後期後半の築造であることも判明した。

独特な埋葬施設の構造などから、積石塚が分布する阿讃地域と畿内との交流の様子が明らかとなった。  
(藤川)



1 調査地の位置 (徳島)



2 現地説明会



3 蝶椁の一部



4 出土銅鏡 (内向花文鏡)

## IV 整理事業報告

平成 18 年度は、徳島南環状道路改築事業関連、桑野川床上浸水対策事業関連、加茂第 1 地区堤防工事関連、一般公共事業関連など、6 事業に伴う 7 遺跡の整理作業を行い、担当研究員 20 人、整理作業員延べ 19,200 人が從事した。

一般国道 32 号線井川 I C 関連改良工事に伴う東州津遺跡・西州津遺跡では、平成 11 年度より 14 年度にかけて実施した発掘調査によって確認された縄文時代から江戸時代にかけての遺構及び遺物について整理作業を行い、報告書を刊行した。

一般国道 192 号線徳島南環状道路改築事業に伴う觀音寺遺跡では、平成 8 年度より平成 12 年度にかけて実施された発掘調査成果のうち、木簡を除く出土木製品に關係する成果を中心とした報告書を刊行した。

その他の遺跡も報告書刊行に向け、基礎整理まで、図版作成まで、原稿執筆まで、とそれぞれの工程に応じて整理作業を行ったが、整理概要については一覧に表示した。

出土品整理業務一覧表

事業名	遺跡名	所在地	事業者	整理期間	整理担当者	遺跡の概要	整理概要	備考
加茂第 1 地区堤防工事	中庄東 445 他	三好郡東みよし町中庄	国土交通省 四国地方整備局	2006/4/1 ~ 2007/3/31	鳥田	飛鳥～江戸の 集落	基礎整理 まで	報告書は平成 20 年度に刊行予定
徳島南環状 道路	觀音寺 466 - 1 他	徳島市国府町觀音寺	国土交通省 四国地方整 備局	2006/4/1 ~ 2007/3/31	田川 植地 中西 片山 服部 園本 曾田	古代の官衙開 発遺跡	觀音寺 I は図版作 成まで 觀音寺 II は報告書 刊行	報告書は觀音寺 I は平成 20 年度に 刊行予定
	延命 332 他	徳島市国府町延命字野 神	国土交通省 四国地方整 備局	2006/4/1 ~ 2007/3/31	井内 坂置	弥生～古代・ 中世の水田跡	基礎整理 まで	報告書は平成 20 年度に刊行予定
桑野川床上 浸水対策特 別緊急事業	宮ノ本 他	阿南市長生町宮ノ本 50 他	国土交通省 四国地方整 備局	2006/4/1 ~ 2007/3/31	大北	縄文～江戸の 集落	基礎整理 まで	報告書は平成 20 年度に刊行予定
道路改築事 業 (徳島環状線 國府工区)	觀音寺・ 敷地	徳島市国府町敷地 鶴ノ本 349 他	徳島県県上 整備部道路 建設課	2006/4/1 ~ 2007/3/31	氏家 中川 幸泉 安部 山上 澤井	古代の官衙開 発遺跡	図版作成 まで	報告書は平成 20 年度に刊行予定
広域基幹河 川改修事業 (園瀬川)	寺山 他	徳島市八万町寺山 71 他	徳島県県上 整備部河川 課	2006/4/1 ~ 2007/3/31	原 濱	古墳古代～中 世の集落	基礎整理 まで	報告書は平成 19 年度に刊行予定
日和佐道路	田井	海部郡美波町田井字久 保 688 他	国土交通省 四国地方整 備局	2006/4/1 ~ 2007/3/31	久保脇	縄文時代中期 の集落	図版作成 まで	報告書は平成 19 年度に刊行予定

## V 埋蔵文化財センターの活動

平成 18 年度の普及関連事業は、従来の業務を継承しながらも、更なる充実のための創意工夫を加え、埋蔵文化財の保護・普及・啓発に努めた。

阿波歴史体感ネットワーク「いにしえ夢街道」推進事業に係わる業務委託を新たに受け、趣旨に則った諸事業を実施し、文化財を活かした地域連携や情報発信を行った。

また、県立埋蔵文化財総合センターを会場とした企画展、講演会、報告会の他、各種体验行事を開催し、来所者の利用増を促した。学校現場への出張授業等の所外活動にも力を入れ、埋蔵文化財の総合的活用を図り、新たな需要の掘り起こしにも取り組んだ。

さらに、県立埋蔵文化財総合センターの指定管理者制度の導入に伴い、施設の管理者として向かえた本年においては、県民の一層の利用を促すために各種自主企画事業を実施し、一定の成果を上げることができた。

### 1 阿波歴史体感ネットワーク「いにしえ夢街道」推進事業

史跡、埋蔵文化財は、地域の歴史や文化を語る貴重な財産であることから、県内に点在する文化財を群としてとらえ、関連文化財や博物館等の施設をつなぐことで、文化財の総合的な活用を図るとともに、関係市町・関係部局との連携や住民の参加と協働による文化財を活かした地域づくりと地域交流の促進による県域の活性化を目指す事業である。平成 17 年度に実施した埋蔵文化財総合活用事業を基盤として進化・発展させた事業であり、埋蔵文化財センターは次の事業を実施しながら、その中核的役割を担つたものである。

#### (1) 「阿波のまほろば 古代政治のみち」シンポジウム・企画展

最近の調査でめざましい成果を挙げた阿波国府やその周辺の古代遺跡を素材に、開発と文化財の共生、歴史文化遺産の活用、ひいては、文化財を活用した地域づくりを考えた。

##### ① シンポジウム

- ・実施日 平成 18 年 11 月 3 日(金)
- ・実施場所 石井町中央公民館(名西郡石井町石井)
- ・テーマ 「阿波の国府と国分尼寺」
- ・内容等

報告 1 「阿波国府跡の調査成果」 藤浦康守 氏(徳島市教育委員会)

報告 2 「敷地・觀音寺・矢野遺跡の調査成果」 大橋育順(主任研究員)

報告 3 「阿波国分尼寺の調査成果と整備計画」 壱岐一哉 氏(石井町教育委員会)

講演 1 「阿波国司と觀音寺木簡」 和田翠 氏(京都教育大学教授)

講演 2 「市民生活と遺跡—平城宮跡の保存・活用を中心に—」

田辺征夫 氏(奈良文化財研究所所長)

提案「史跡・埋蔵文化財の総合活用に向けて」 菅原康夫 氏(徳島県教育委員会)

ディスカッション「阿波の国府と国分尼寺」

コーディネーター 木原克司 氏(鳴門教育大学教授)

パネラー

講演者・報告者

- ・参加者数 310 名
- (2)企画展
  - ・実施期間 平成 18 年 10 月 28 日(金)～11 月 5 日(日)
  - ・実施場所 石井町中央公民館(名西郡石井町石井)
  - ・テーマ 「粟凡直の躍動—阿波国の成立—」
  - ・展示内容 阿波国造墓碑(中王子神社蔵・県指定有形文化財)  
清成遺跡・高川原遺跡・阿波国分尼寺跡・石井庵寺跡・觀音寺遺跡・敷地遺跡  
ほかからの出土資料
  - ・来場者数 639 名

#### (2) アワコウコ楽連続公開講座

郷土徳島の歴史に対する理解を深めるため、考古学から見た阿波の地域性を主テーマとして、前・後期に分け講演会や展示解説をした。

- ・実施場所 徳島県立埋蔵文化財総合センター
- 前期：テーマ 「中世の阿波」
  - 第 1 回 平成 18 年 7 月 16 日(日) 受講者 82 名  
特別講演「土器研究からみた中世阿波と畿内」橋本久和 氏(高槻市教育委員会)
  - 第 2 回 平成 18 年 7 月 30 日(日) 受講者 81 名  
講演 1「阿波の中世城館」辻佳伸 氏(徳島県教育委員会)  
講演 2「阿波の中世集落」島田豊彰(研究員)
- 後期：テーマ 「近世の阿波」
  - 第 1 回 平成 18 年 11 月 19 日(日) 受講者 63 名  
特別講演「掘り出された江戸の大名屋敷(阿波徳島藩蜂須賀家上屋敷ほか)」小林 裕氏(東京都埋蔵文化財センター)
  - 第 2 回 平成 18 年 12 月 3 日(日) 受講者 47 名  
講演 1「徳島藩主蜂須賀家墓所と徳島城」三宅良明 氏(徳島市教育委員会)  
講演 2「出土遺物からみた徳島城下町の様相」大北和美(研究員)

#### (3) アワコウコ楽マイスター

県民の埋蔵文化財に対する理解と関心を高めるため、考古学的成果を踏まえながら、古代の技術・文化の追体験を行った。

- ・実施期間 平成 18 年 6 月 4 日(日)～11 月 26 日(日)
- ・実施場所 徳島県立埋蔵文化財総合センター他
- ・テーマ 「めざせ！アワコウコ楽マイスター！」
- ・講座内容
- 第 1 回 平成 18 年 6 月 4 日(日) 「植えよう」開講式 古代米つくりのはなし、田植え体験
- 第 2 回 平成 18 年 6 月 18 日(日) 「着よう」古代の衣のはなし、貫頭衣制作、着装体験
- 第 3 回 平成 18 年 7 月 9 日(日) 「飾ろう」古代のアクセサリーのはなし、勾玉・ガラス玉づくり体験
- 第 4 回 平成 18 年 7 月 31 日(月)～8 月 4 日(金)「掘ろう」遺跡発掘のはなし、発掘体験

- 第5回 平成18年9月3日(日)「土器つくろう」古代の土器のはなし、土器づくり(成形)体験  
 第6回 平成18年10月8日(日)「土器焼こう」古代の土器のはなし、野焼き(焼成)体験  
 第7回 平成18年10月15日(日)「収穫しよう」古代の稻刈りのはなし、古代米稻刈り体験  
 第8回 平成18年11月12日(日)「見よう」遺跡見学バスツアー、県東部地域の遺跡臨地体験  
 第9回 平成18年11月26日(日)「食べよう」古代食のはなし、調理体験、古代米脱穀、試食体験、  
     閉講式

・受講者数 30名

#### (4) 夢街道オンライン

「いにしえ夢街道」推進事業として実施する諸事業、徳島県立埋蔵文化財総合センターで開催するイベント及び発掘調査現地説明会等の県内埋蔵文化財情報を包括的に収集・整理のうえ発信した。

- ・実施期間 平成18年4月1日(土)～平成19年3月31日(土)
- ・いにしえ夢街道 on line ニュース発信回数 13回
- ・アクセス回数 9,239回

#### (5) 郷土文化教育教材整備事業

郷土徳島の歴史に対する理解を深め、歴史をより身近なものとして捉え、文化財保護について関心を抱いてもらうため、調べ学習や体験学習につながる、徳島の遺跡・遺物を紹介する学習教材(写真パネルと解説文)を作成し、県内の小学校に配布した。

- ・実施期間 平成18年4月1日(土)～平成19年3月31日(土)
- ・テーマ 「ゲンちゃんと学ぼう 徳島の歴史舞台」
- ・内容等 「大代古墳」「徳島県出土の埴輪」「勝瑞城館跡」「矢野遺跡」
- ・作成部数 230部

## 2 埋蔵文化財総合活用事業

#### (1) 埋蔵文化財速報展「発掘とくしま」

平成17年度に発掘した遺跡の主要な出土品を展示し、その成果を県民に紹介するとともに、各種関連行事も実施し、郷土の歴史に対する理解と認識、文化財保護意識の向上に努めた。

- ・実施期間 平成18年7月21日(金)～9月3日(日)
- ・実施場所 徳島県立埋蔵文化財総合センター
- ・テーマ展示 「出土文字から見た古代の阿波」
- ・速報展示 宮ノ本遺跡、トノ町遺跡、広田遺跡、養老軒跡、守護町勝瑞遺跡、  
     萩原2号墓、庄遺跡、観音寺遺跡、西分遺跡、坪原東遺跡
- ・来場者数 1,288名
- ・関連行事
  - 第1回おもしろ古代体験 平成18年7月23日(日)「ガラス玉づくり」 参加者40名
  - 第2回おもしろ古代体験 平成18年8月27日(日)「木簡づくり」 参加者20名
  - 第1回調査成果報告会・展示解説 平成18年8月6日(日) 参加者48名
  - 報告「宮ノ本遺跡」谷川真基(研究補助員)「広田遺跡」近藤玲(主任研究員)  
     「萩原2号墓」藤川智之(係長)

第2回調査成果報告会・展示解説・講演会 平成18年8月20日(日) 参加者71名

報告「観音寺遺跡」大橋育順(主任研究員)

講演「出土文字に見える古代の阿波」松原弘宣氏(愛媛大学教授)

遺跡体験見学会(徳島市国府町敷地遺跡) 平成18年8月23日(水) 参加者33名

### 3 収蔵庫資料整理等業務

埋蔵文化財保護の拠点である県立埋蔵文化財総合センターにおいて、県内の埋蔵文化財の保存・活用が、なお一層図られることを目的とし、収蔵庫内の資料整理、検索システムの構築、遺物保存処理等を行った。

#### (1) 考古資料の活用 考古資料の借用・掲載・転載・撮影・実見等件数 50件

No	申請内容	貸出資料等	枚数	貸出先(申請者)	掲載書籍・作品等
1	転載	観音寺木簡(4号木簡、41号木簡)写真	2	(財)東京大学出版会	評制下前木簡集成に転載
2	借用・掲載	弥生土器・石器等。写真(大谷尻遺跡・カネガ谷遺跡) 他	260	(財)徳島県埋蔵文化財センター	第3回発掘へんろに展示
3	借用・掲載	勘箱木簡、勘箱木簡出土状況写真	3	(株)新人物往来社	月刊「歴史読本」7月号に掲載
4	借用	埋蔵文化財センターの仕事(ビデオ)	1	徳島県埋蔵文化財調査室	講義に使用
5	実見	庄遺跡・大柿遺跡の出土標	75	岡田直一	学術研究のため
6	借用・掲載	敷地遺跡写真	13	南井上公民館	文化祭に展示
7	試料提供	鴨文土器(矢野・庄・葉川・直光前田・大柿遺跡)	52	宇田津耕助	学術研究のため
8	借用	蓮華谷古墳群Ⅱ・柿谷遺跡フィルム	4	菅原康夫	講座に使用
9	実測・撮影・ 羽根	大谷尻遺跡・丸山遺跡鉄錆	4	半沢直也	論文作成のため
10	実見	矢野遺跡鉄錆	13	半沢直也	論文作成のため
11	借用・掲載	観音寺木簡(60号木簡)フィルム	1	中国四國税理士会	中国税理士会に掲載
12	借用	萩原1号墓・西山谷2号墳出土遺物・写真	47	二上山博物館	企画展に展示
13	借用・掲載	観音寺木簡外縁写真	5	吉川文館	歴史考古学辞典に掲載
14	借用・掲載	矢野洞群・延岡遺跡銅鏡フィルム	3	松山市考古館	特別展開催に掲載
15	借用	古代大谷堀玉類・吉水遺跡輪宝	13	(財)徳島県埋蔵文化財センター	発掘へんろ「東京展」に展示
16	借用・掲載	矢野遺跡・名東遺跡フィルム	4	菅原康夫	講座に使用
17	借用	古代古墳金屬器・玉類・カニ塚・尼塚埴輪等	68	大代古墳等歴史的文化遺産保存会	展示会に展示
18	借用・掲載	名東遺跡フィルム	1	菅原康夫	講座に使用
19	借用	観音寺・庄・黒谷川宮ノ前遺跡等木簡・壺唐土器・瓦等	91	徳島市立考古資料館	特別企画展に展示
20	借用・撮影・ 掲載	観音寺・庄・黒谷川宮ノ前遺跡等写真・実測図	121	徳島市立考古資料館	特別企画展に展示
21	実見	下駄(徳島城下町道跡・中前川町2丁目地点)	28	本村充保	学術研究のため
22	借用・掲載	矢野洞群・論語木簡・ガラス製勾玉(下中磨)写真	3	株式会社DAI	さうりんぐ Tokushima 11月号に掲載
23	掲載	観音寺遺跡・論語木簡・錯透津木簡(写真)	4	国際航業株式会社	ウェブサイト上に公開
24	掲載	観音寺道跡出土8号木簡実測図	1	上智大学大学センター	入学案内に掲載
25	借用・掲載	ガラス製勾玉・道構全景(下中筋道跡)写真	2	(株)新人物往来社	月刊「歴史読本」1月号に掲載
26	試料提供	下駄(徳島城下町道跡)	104	本村充保	学術研究のため
27	掲載	カネガ谷遺跡出土鉄器X線写真	2	村上恭通	朝日遺跡報告書に掲載
28	資料提供・ 掲載	成果説明会資料・写真4点(観音寺遺跡)	5	(株)ジャパン通信情報センター	文化財発掘出土情報2007年1月号に掲載
29	借用	観音寺木簡(紀年・御賛・施籍・習書等)	10	木簡学会	研究集会での展示・閲覧のため
30	借用・掲載	円柱状土製品・土製板面・織文土器・動物形土製品・礫石写真	5	(財)徳島県埋蔵文化財センター	発掘へんろのパンフレット・ちらしに掲載
31	借用	瀬戸美濃系染付碗他陶器漆器及び土製品(新穂町1丁目遺跡)	78	徳島県立博物館	牟岐大島での採集品との比較展示のため
32	借用・掲載	信楽系注溝文碗写真(新穂町1丁目遺跡)	1	株式会社東京堂出版	歴史考古学を知る辞典に掲載

33	借用・掲載	羅波津木簡抄一枚 1点・音義木簡赤外線写真 2点	3	(株)小学館	「日本の古典を読む」第1回配本『古事記』
34	借用	上製仮面・羅文土器・円柱状土器製品・赤彩双耳壺(矢野遺跡)他	38	(財)徳島県埋蔵文化財センター	第3回発掘へんろに展示
35	掲載	大谷尻遺跡調査地位置図	1	尾閑 章	岐阜県高教研究会地歴部会会報掲載
36	借用・掲載	觀音寺町第70号木簡赤外線写真	1	神戸新聞総合出版センターター	「風土記からみる古代の播磨」に掲載
37	借用・掲載	闇文・弥生土器他・写真(矢野・名東・庄田・船岡遺跡)	65	徳島市立考古資料館	企画展に展示
38	実見	坂平塙(徳島城下町遺跡等出土)	25	兵庫陶芸美術館	展示会に展示する遺物の検討
39	借用・掲載	大柿遺跡(遠景、窓内遺物出土状況)写真	2	(財)徳島県埋蔵文化財センター	発掘へんろのパネル作製
40	借用・撮影・掲載	大柿・石城ノ内・西原・井上・荒川・古町等遺跡等出土遺物	213	(財)徳島県埋蔵文化財センター	発掘へんろのパンフレット・ちらしに掲載
41	借用・掲載	矢野洞群出土状況	1	株式会社ランズ	日本通史別巻・歴史学卷に掲載
42	借用・掲載	論語木簡写真	1	(株)青丹社	NHK「知るを楽しむ」テキスト掲載
43	借用・掲載	論語木簡写真	1	NHK制作局第1制作センター	「知るを楽しむ」番組制作に使用
44	借用・撮影・掲載	ガラス製勾玉(下中筋)・ガラス玉(矢野)	3	植地 岳彦	日本文化財科学会での発表に使用
45	借用・掲載	荒川遺跡・中内道路の遺物出土状況・遺物等の写真	5	(財)徳島県埋蔵文化財センター	発掘へんろのパンフレット・ちらしに掲載
46	借用	青磁「皿・盤・碗」21点、写真1点(黒谷川宮ノ前)	22	藍住町教育委員会	企画展に展示
47	借用	けつ状耳飾り・羅文土器・石灘等(田井遺跡)	184	(財)徳島県埋蔵文化財センター	講演に使用
48	借用・掲載	坂平塙(徳島城下町遺跡)	3	兵庫陶芸美術館	特別展「坂平塙」展に展示
49	借用・掲載	安佐段所跡全景写真	2	共同通信社	全国の地方紙に配信
50	借用	ガラス製勾玉・耳環(宝幢寺3号墳)他	213	(財)徳島県埋蔵文化財センター	第4回発掘へんろに展示

## (2) 図書資料等検索システムの整備

### (3) 遺物保存処理

### (4) 専門職員等研修

No	期日	研修会名	内容	参加者
1	7/26(水)	教職員初任者研修 (企業等研修)	調査業務体験(牧地道路)	3名
	8/9(水)			1名
	8/23(水)			3名
	8/24(木)			2名
2	11/7(火)	職場体験学習 (藍住中学校2年)	調査業務体験(牧地道路)	1名
	11/8(水)		整理業務体験	
	11/9(木)		整理業務体験・普及業務体験	
3	12/14(木)	インターンシップ (板野高校1年)	調査業務体験(南麻本道路)	5名
	12/15(金)		整理業務体験	2名
4	1/15(月)	第1回市町村埋蔵文化財担当専門職員研修会	・講演「城郭石垣調査の現状と課題」 櫻原考古学研究所 北川慶一郎 氏	46名
			・現地研修「徳島城跡の石垣について」 北川慶一郎 氏	
			三生良明 氏(徳島市教育委員会)	
5	1/18(木)	職場体験学習 (板野中学校2年)	調査業務体験(南麻本道路)	2名
	1/19(木)		整理業務体験	

6	3/6(火)	第2回市町村埋蔵文化財担当専門職員研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演「埋蔵文化財の保存と活用」 文化庁記念物課調査官 福宜田佳男 氏</li> <li>事例報告 「鳴門市荻原2号墓の発掘調査について」 藤川 賢之</li> <li>「阿波市土成丸山古墳の発掘調査について」 阿波市教育委員会社会教育課 林 泰治 氏</li> </ul>	35名
---	--------	----------------------	---	-----



インターンシップ(板野高校)



職場体験学習(板野中学校)

#### (5) 普及指導(出張授業)

No	月 日	利 用 団 体	人 数	内 容
1	4/26(水)	阿南市長生小学校 6年	23名	移動教材セット・勾玉作り
2	5/17(水)	徳島市加茂名南小学校 6年	120名	移動教材セット
3	6/2(金)	徳島中央高校	22名	勾玉作り
4	6/2(金)	徳島中央高校	9名	勾玉作り
5	6/20(火)	徳島市入田中学校	9名	移動教材セット・火おこし・勾玉作り
6	10/17(火)	三好市馬路小学校 4~6年	27名	移動教材セット・火おこし
7	10/29(日)	徳島中央高校	16名	勾玉作り
8	10/29(日)	N P O 法人 ハーモニー「人・豊かな街作り」	30名	土器作り
9	11/1(水)	板野郡藍住西小学校 5年	112名	勾玉作り
10	11/1(水)	板野郡藍住西小学校 4年	82名	勾玉作り
11	11/6(月)	吉野川市西麻柄小学校 5年・保護者	42名	火おこし・勾玉作り
12	1/18(木)	高浦中学校	28名	勾玉作り
13	2/2(金)	大麻中学校広塚分校	18名	火おこし・勾玉作り
14	2/24(土)	上板町子ども教室	33名	移動教材セット・勾玉作り
15	3/18(日)	美波町田井遺跡保存・活用イベント	24名	勾玉作り



出張授業(火おこし)



出張授業(勾玉づくり)

(6) 教材等の貸出

No	利 用 団 体	貸 出 日	返 却 日	利 用 人 数	教 材 名
1	上八万小学校 6年	4/17	4/21	79人	移動実物教材セット
2	中央高校 1年	4/17	4/24	89人	"
3	勝浦中学校 1年	6/ 3	6/11	46人	"
4	小松島中学校 1年	6/13	6/30	193人	"
5	浜野小学校 6年	6/28	7/ 6	35人	"
6	阿波西高校	8/ 8	8/10	41人	"
7	馬路小学校 5・6年	10/8	10/17	14人	"
8	高浦中学校 3年	1/18	3/16	52人	勾玉作りセット

#### 4 徳島県立埋蔵文化財総合センター(対象施設)の管理運営業務

県教育委員会から指定された同センターの指定管理者として、管理運営事業計画に記載した管理運営の基本方針に沿って、管理運営業務を実施した。

(1) 基本方針

- ①利用促進、サービスの向上 考古学専門の学芸員および受付案内員、アルバイト職員によって、展示解説・体験学習指導・受付など来所者応対を行い、自主事業等を実施することで、来所者数増の促進に努めた。更に、管理運営に必要な知識と技術の取得のため、全国埋蔵文化財法人連絡協議会第1回指定管理者制度に関する連絡会議に出席した。
- ②コストの削減 担当職員の業務兼任、委託業務(植栽)競争入札の実施、企画展の看板やパンフレットなどの自作製作によって、コスト削減に努めた。
- ③施設の適正な維持管理 展示室の復元竪穴住居の燐蒸を実施し、虫害予防に努めた。
- ④地域への貢献・連携 臨時補助員及び土・日アルバイトは県内在住者を採用した。
- ⑤安全管理事故など未然に防止するよう努め、不測の事態に備えて傷害保険に加入した。
- ⑥環境への配慮 土製品焼成体験では小規模な焼成システムを導入するなど、イベントの規模に合わせた方法を考案・実践し、古代体験学習と省エネルギー推進を両立させた。

(2) 対象施設の利用状況

徳島県立埋蔵文化財総合センター来所者数 7,272人(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(発掘とくしま来所者数 1,288名で「発掘とくしま」開催期間中を除いた来所者数は 5,984名)

期間	H18年度	(参)H17年度	(参)H16年度
4月1日(土)～4月30日(日)	997	881	747
5月1日(月)～5月31日(水)	520	571	461
6月1日(木)～6月30日(月)	556	676	321
7月1日(土)～7月31日(月)	624	697	515
8月1日(火)～8月31日(水)	831	685	628
9月1日(金)～9月30日(土)	337	525	435
10月1日(日)～10月31日(火)	1,035	696	987
11月1日(水)～11月30日(木)	568	708	697
12月1日(金)～12月27日(水)	335	227	483
1月5日(金)～1月31日(水)	291	236	275
2月1日(木)～2月28日(水)	417	595	609
3月1日(木)～3月31日(日)	761	555	657
合 計	7,272	7,052	6,815

(3) 自主事業の収入の実績および管理運営経費等の収支の状況

①自主事業収入	なし
②管理運営収入状況	県からの指定管理料 15,466,500 円
③管理運営費支出状況	支出総計 15,466,500 円

(4) 自主事業の実施状況

①埋蔵文化財企画展

企画名	期間	来所者数
アワコウ楽マイスター成果展 「体験!古代の埴づくり」	平成 18 年 11 月 18 日～12 月 10 日	348
徳島の古跡展「矢野遺跡」	平成 19 年 1 月 9 日～2 月 11 日	409
四国地区埋蔵文化財センター巡回展「発掘へんろ」	平成 19 年 2 月 21 日～3 月 25 日	832
展示解説会	平成 19 年 2 月 25 日	(30)
親子古代体験	平成 19 年 3 月 4 日	(30)
展示解説会	平成 19 年 3 月 18 日	(72)
中国四国前方後円墳研究会	平成 19 年 3 月 24 日、25 日	58
合計		1647

(5) 団体来館応対

月	No	利 用 団 体	入 数	* 展：展示案内 実：実習室 ピ：ビデオ		内 容
				月 日	午前・午後	
4	1	重清西小学校 6 年	16 名	4 / 26(水)	午前	履・実・火おこし
	2	八万南小学校 6 年	124 名	4 / 28(金)	午前	履・ビ・実・火おこし
5	3	名西高校 2 年	6 名	5 / 10(水)	午後	土器の修復作業見学
	4	方上小学校 1 年～5 年	87 名	5 / 19(金)	午後	履・実・火おこし
6	5	鴨島第一中学校 1 年	115 名	5 / 26(金)	午前	履・実・火おこし
	6	高志小学校 4 年	29 名	6 / 11(日)	午前	勾玉作り
7	7	高松市立香南小学校 6 年	71 名	6 / 13(火)	午前	履・実
	8	板野東小学校 4 年	60 名	6 / 24(土)	午前	履・勾玉作り
9	9	大阪府文化財センター	40 名	7 / 21(金)	午前	履
	10	光熙会(書道教室)	50 名	7 / 30(日)	午前	履・木簡作り
10	11	書道協会	30 名	9 / 10(日)	午後	履・講演
	12	板野郡立学校教頭会	17 名	9 / 11(月)	午後	履・勾玉作り
11	13	二上山博物館友の会	38 名	9 / 24(日)	午前	履
	14	八万小学校 5 年	150 名	10 / 20(金)	午前	履・ビ・火おこし
12	15	板野南小学校 3 年	37 名	10 / 20(金)	午前	履
	16	久勝小学校	54 名	10 / 20(金)	午後	火おこし・勾玉作り
13	17	阿波市伊弉公民館(小学生)	30 名	10 / 22(日)	午前	履・実・勾玉作り
	18	板野高校年	205 名	10 / 25(水)	午前・午後	履・火おこし
14	19	東光小学校 5・6 年	29 名	10 / 26(木)	午前	履・実・火おこし
	20	美馬市高来小学校 4 年～6 年	39 名	10 / 27(金)	午前	履・実・火おこし
15	21	北井上小学校 6 年	48 名	10 / 27(金)	午後	履・実・勾玉作り
	22	藍住北小学校 6 年	69 名	11 / 7(火)	午前	履・勾玉作り
16	23	徳島市教職員連盟	20 名	11 / 11(土)	午後	履・勾玉作り
	24	羅西ひまわりクラブ	18 名	11 / 10(金)	午前	履
17	25	大津西地域子ども教室	10 名	11 / 26(日)	午前	履・勾玉作り
	26	鳴門教育大学	26 名	12 / 16(土)	午前	履
18	27	城西高校 3 年	2 名	1 / 18(木)	午前	履
	28	徳島大学	6 名	1 / 21(日)	午後	履・ガラス玉作り
19	29	派遣社会教育主事会	9 名	1 / 26(金)	午前	履・勾玉作り
	30	鳴門教育大学	11 名	2 / 10(土)	午前	履・勾玉作り

3	31	小松島老人クラブ連合会婦人部	27名	3/22(木) 午前	展
---	----	----------------	-----	------------	---



団体来館（火おこし）



団体来館（勾玉づくり）



団体来館（展示解説）

## (6) 毎日古代体験

7月より実習室・体验テントでいつでも古代体验学習ができる「毎日古代体验」を開始した。体验メニューは、「勾玉づくり」「火おこし」「绳文ボシェットづくり」としている。

## (7) 来館者アンケート

自主事業を実施するにあたり、利用者のニーズを的確に判断するため、通常開館日及び自主事業企画展開催中に来館者アンケートを実施した。

毎日古代体験参加者	
7月25日(火)～7月31日(月)	50
8月1日(火)～8月31日(水)	156
9月1日(金)～9月30日(土)	33
10月1日(日)～10月31日(火)	27
11月1日(水)～11月30日(木)	48
12月1日(金)～12月27日(水)	95
1月5日(金)～1月31日(水)	31
2月1日(木)～2月28日(水)	42
3月1日(木)～3月31日(日)	124
合 計	606

## 5 発掘現場における普及啓発活動

## (1) 現地説明会

発掘中の遺跡の調査成果を広く県民に紹介した。

①下中筋遺跡（徳島市上八万町） 平成18年9月30日（土）参加者200名

内容：弥生時代中期後半の竪穴住居跡から出土した四国最古となるガラス製勾玉や銅鏡など遺構・遺物の公開と解説。

②南蔵本遺跡（徳島市南蔵本町） 平成18年12月23日（土）参加者200名

内容：弥生時代後期の鍛冶遺構が確認され、徳島における弥生時代の鍛冶技術の系譜や、北部九州など先進地との関係を示す成果があったため、遺構と遺物の公開と解説。

③萩原2号墓（鳴門市大麻町） 平成19年3月18日（日）参加者400名

内容：埋葬主体部の構造が非常に特殊な積石木椁であることが判明し、奈良県ホケノ山古墳の主体部構造に先行する重要な形態であることを示す成果があったため、現地を公開し解説した。

## 6 職員の对外活動

No	期 日	内 容	参 加 者
1	4/5(木)	徳島ロータリークラブ定例会・研修（参加者41名）	藤川
2	4/13(木)・14(金)	四国地区埋蔵文化財センター巡回展・展示会場の設営及び協議	原・田川・植地・三木
3	4/22(土)	徳島歴史研究会 喬門・板野地域の史跡の現地解説	藤川
4	5/11(木)	木簡学会誌「木簡研究」第28号執筆	藤川
5	5/11(木)・12(金)	全国埋蔵文化財法人連絡協議会役員会	河野・三木
6	6/13(火)	第1回いにしえ夢街道推進委員会総会	村山・藤川・三木

7	6/23(金)	阿波史跡会研修会	大北
8	7/12(水)	「いにしえ夢街道」推進事業に係る市町村・関係機関連絡会	藤川・三木
9	7/25(火)・26(水)	四国地区埋蔵文化財センター巡回展 展示会場の設営及び協議	原・田川・植地
10	7/27(木)	第1回アワコウコ業スクールリーダー養成講座	三木
11	8/3(木)	「いにしえ夢街道」推進事業に係る市町村・関係機関連絡会	藤川・三木
12	8/7(月)	いにしえ夢街道推進委員会第1部会	藤川・三木
13	8/14(月)	広報東みよしへの原稿執筆	藤川
14	8/25(金)	徳島県中世城館総合調査委員会委嘱	藤川・島田
15	9/5(火)	徳島県中世城館総合調査第1回調査会員会議	藤川・島田
16	9/7(木)・8(金)	全理協コンピュータ等研究委員会中・四・九地区委員会	藤川・植地
17	9/11(月)～13(水)	奈良文化財研究所との打ち合わせ(木造保存処理)	藤川
18	10/8(日)	第3回アワコウコ業スクールリーダー養成講座	氏家・原・大橋
19	10/14(土)	徳島県中世城館総合調査遺構調査会員会	島田
20	10/19(木)	いにしえ夢街道推進委員会第4部会	藤川・三木
21	10/20(金)	アワコウコ業サポートー養成講座	原・近藤
22	10/21(土)・22(日)	徳島市立考古資料館特別企画展記念シンポジウム	藤川
23	11/3(金)	いにしえ夢街道シンポジウム「阿波の国府と分尼寺」	大橋
24	11/3(金)～5(日)	日本考古学協会愛媛大会	栗林・近藤
25	11/10(金)～12/8(金)	国立大学法人徳島大学「創成学習・埋もれた文化遺産Ⅱ」(毎週金曜日)	栗林
26	11/11(土)	徳島市教職員連盟の跡跡見学案内と古代体験指導	島田
27	11/14(火)	外部講師招聘事業(東野高校)	藤川
28	12/2(土)・3(日)	木簡学会総会・研修会	藤川・大橋
29	12/14(木)	阿波市立歴史館運営委員会	大北
30	12/18(月)	いにしえ夢街道推進委員会第3部会	藤川・三木
31	12/25(月)	第13回分尼寺跡史跡整備審定委員会	村山
32	12/26(火)	「いにしえ夢街道」推進事業に係る市町村・関係機関連絡会	藤川・三木
33	1/16(火)	四国地区埋蔵文化財センター巡回展 展示会場の設営及び協議	田川・植地・島田
34	2/15(木)	外部講師招聘事業(笠高校)	植地
36	2/22(木)	全国理藏文化財法人連絡協議会コンピュータ等研究委員会	藤川・植地
35	2/27(火)	いにしえ夢街道推進委員会第部会	藤川・三木
37	2/28(水)	発掘へんろ東京展展示解説	田川
38	3/6(火)	第4回市町村埋蔵文化財担当専門職員研修会事例報告	藤川
39	3/18(日)	美波町田井道路保存・活用イベント(講演)	久保脇
40	3/19(月)	いにしえ夢街道推進委員会総会	村山・藤川・三木

## 7 ホームページ(徳島県埋蔵文化財センターWeb)管理(開設5年目)

アクセス数: 16,271 件

## 8 本年度受贈図書数 1,845 冊

## 9 本年度刊行物

○徳島県埋蔵文化財センター調査報告書 第67集

『西州津遺跡 東州津遺跡 一般国道32号井川IC 潜曲改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』平成18(2006)年12月15日発行

○徳島県埋蔵文化財センター調査報告書 第68集

『観音寺遺跡Ⅱ（観音寺遺跡 木器篇）一般国道192号徳島南環状道路改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』平成18(2006)年9月30日発行

○阿波歴史体感ネットワーク「いにしえ夢街道」推進事業関連刊行物

シンポジウム資料集『阿波の国府と国分尼寺』 平成18(2006)年11月3日発行

展示図録『栗凡直の躍動－阿波国の成立－』 平成18(2006)年10月28日発行

アワコウコ楽連続公開講座 『中世の阿波』 平成18(2006)年7月16日発行

『近世の阿波』 平成18(2006)年11月19日発行

○埋蔵文化財総合活用事業

『2006発掘とくしま 埋蔵文化財速報展』 平成18(2006)年7月21日発行

平成17(2005)年度補遺

○徳島県埋蔵文化財センター研究紀要『真朱』第6号 平成18(2006)年3月24日発行

○埋蔵文化財総合活用事業関連（徳島県立埋蔵文化財総合センター開館10周年記念）

シンポジウム資料集『地域に未来を与える文化財』 平成17(2005)年11月3日発行

展示図録『あるでないで阿波！発掘された徳島の至宝』 平成17(2005)年10月10日発行

展示図録『あるでないで阿波！吉野川・ソラとウミの考古学』 平成17(2005)年11月1日発行

アワコウコ楽連続公開講座 『弥生時代の阿波』 平成17(2005)年6月5日発行

『古墳時代の阿波』 平成17(2005)年11月13日発行

『2005発掘とくしま 埋蔵文化財速報展』 平成17(2005)年7月23日発行



---

徳島県埋蔵文化財センター年報 Vol. 18

－平成 18(2006) 年度－

平成 19 年 11 月 30 日

編集・発行 財団法人徳島県埋蔵文化財センター

〒 779-0108 徳島県板野郡板野町大伏字平山 86 番 2

TEL (088)672-4545 FAX (088)672-4550

HP <http://www.tokushima-maibun.net> E-mail [awapac@jt6.so-net.ne.jp](mailto:awapac@jt6.so-net.ne.jp)

印刷（株）教育出版センター

〒 771-0138 徳島県徳島市川内町平石流通団地 27 番地

TEL (088)665-6060 FAX (088)665-6080

